

見てみよう！歴史地震記録と旬のあいち

April 2016 vol.24

S	M	T	W	T	F	S
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

◆ 西端三ヶ寺

所在地：碧南市油渕町ほか

交 通：名鉄三河線「北新川」駅 東 2km

碧南市の北部、油ヶ淵の北に位置する西端地区の三ヶ寺、
応仁寺・康順寺・栄願寺は、本願寺第8世法主・蓮如上人
の三河行化（修行を終えて教化のために巡り歩くこと）における西端滞留ゆかりのお寺で、西端三ヶ寺と呼ばれています。西端集落は、昭和20（1945）年の三河地震で総戸数495戸のうち145戸が全壊、280戸が半壊、死者26名という大きな被害を受けましたが、このとき、西端三ヶ寺の本堂もすべて倒壊する被害を受けています。写真は三河地震前後と現在の三ヶ寺のものです。

三ヶ寺のうち応仁寺は、戦後の混乱期にもかかわらず西端住民の強い思いによりすぐに再建に乗り出し、多額の淨財を集め、倒壊からわずか12年後の昭和32年に本堂が再建されました。栄願寺は昭和58年、康順寺は平成15年の再建であり、地域住民に支えられた無檀無住の応仁寺が、



応仁寺



康順寺

写真上段：応仁寺
写真中段：康順寺
写真下段：栄願寺

左：三河地震前
中：三河地震後
右：現在
(故原田三郎氏ご遺族提供)



栄願寺



◆ 地震にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起ったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、地震が実際にこの地域で起こることを実感していたたくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

相当数の檀家をもつ他の2つの寺より先に再建を成し遂げたことになりますが、これは昭和東南海地震の90年前、嘉永7（1854）年に発生した安政東海地震の後の再建の経緯も関係しているかもしれません。

安政東海地震でも応仁寺本堂は倒壊しましたが、地震後の応仁寺の再建は、三河地震後の再建同様、西端住民の強い思いと努力によって進められました。地震直後、住民は早速復興に立ち上がり、まずは広く浄財を募りました。当時の募財に応じた帳簿「蓮如上人御旧跡応仁寺再建御奉加帳」の片々が現在も残っていますが、それを見ると、刈谷・半田・阿久比・有松・瀬戸方面の信徒の名前が載っているそうです。当時の世話方が遠路はるばる草鞋を重ねた跡がうかがわれます。その結果、地震からわずか9年後の文久3（1863）年2月には地固めを開始し、11月には大工の仕事始めが行われ、3年後の慶応2（1866）年春に完成、同年10月27日には入仏式が華々しく挙行されたのです。三河地震後の再建と同様のことが90年前にも行われていたのでした。

なお、本号に掲載した三河地震前後の写真を撮影された故原田三郎さんは、碧南市の出身で、当時東京で近衛兵をされていましたが、西端集落の実家に帰省されていたところを三河地震に襲われました。所属する軍隊の上官への報告などのため多くの被災写真を残しており、震災の激しさを物語る貴重な資料となっています。



◆ 西端三ヶ寺の周辺には…

● 前浜新田

所在地：碧南市前浜町

交 通：名鉄三河線「碧南」駅南約1.5km

嘉永7（1854）年の安政東海地震により、前浜新田の地盤が二尺（約60cm）以上沈下し、津波も襲来したとされています。また明治24（1891）年の濃尾地震でも、地盤沈下が発生しています。



◆ 詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ防災・減災サイト』(<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>) をご覧ください。

★ さくらまつり

碧南市のさくらまつりは、3月下旬から4月上旬にかけて開催（平成28年は3月19日～4月10日）される市の三大花まつりです。（このほかに4月から5月にかけての藤まつり、5月から6月にかけての花しょうぶまつり）

表面で紹介した蓮如上人ゆかりの寺・応仁寺のほか、芝生広場を中心とし、約250本のソメイヨシノが花を咲かせ



る明石公園、境内に約150本の桜が咲き誇り、花見客で夜遅くまでにぎわう
中山神明社、遊歩道の両脇に約120本のソメイヨシノが咲く矢作川桜づつみ、の市内4会場で開催され、期間中は夜9時ごろまでぼんぼり照明によるライトアップも行われます。

4月のあいちの花

平成28年4月のあいちの花はカーネーションです。カーネーションはナデシコ科の多年草で、主に夏のみ花を咲かせる品種と、条件が合えば周年開花する四季咲き性の品種があります。ヨーロッパで品種改良がさかんで、地中海系品種と呼ばれる、一茎に数輪の花を咲かせるスプレータイプのものに人気があり、切り花用カーネーションの主流になっています。



碧南市観光協会HPより
(左:応仁寺、右:矢作川桜づつみ)

● ブレイクタイム ●

♪ 蓮如忌・蓮如ウォーク

蓮如忌は、蓮如上人が入寂した明応8（1499）年3月25日にちなみ、毎年4月19日から25日にかけて開催（明治以降は新暦にあわせて4月に実施）されるイベントで、蓮如忌法要、お茶会、法話などが行われるほか、大道芸や猿回しも催されます。応仁寺周辺の道筋には露店が建ち並び、名物の碧南白醤油焼そばもご賞味いただけます。

期間中には、応仁寺をスタートとし康順寺・栄願寺を含めた5か所を回りスタンプを集めるウォークラリー・蓮如ウォークも開催され、多くの親子連れや子どもたちでにぎわいます。当日はガイドボランティアによる西端の歴史の解説も聞くことができます。



昭和初期の蓮如忌のにぎわい
(故原田三郎氏ご遺族提供)

『蓮如忌・蓮如ウォーク』

開 催 地：碧南市油渕町（応仁寺周辺）

◆ この地域の地震・津波に関する碑・史跡・資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.comまで情報を寄せください。

◆ 県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等をご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ防災・減災サイト』(<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>) をぜひご覧ください。